

2025年 第14週（3月31日～4月6日）の感染症発生動向調査情報

<今週の内容>

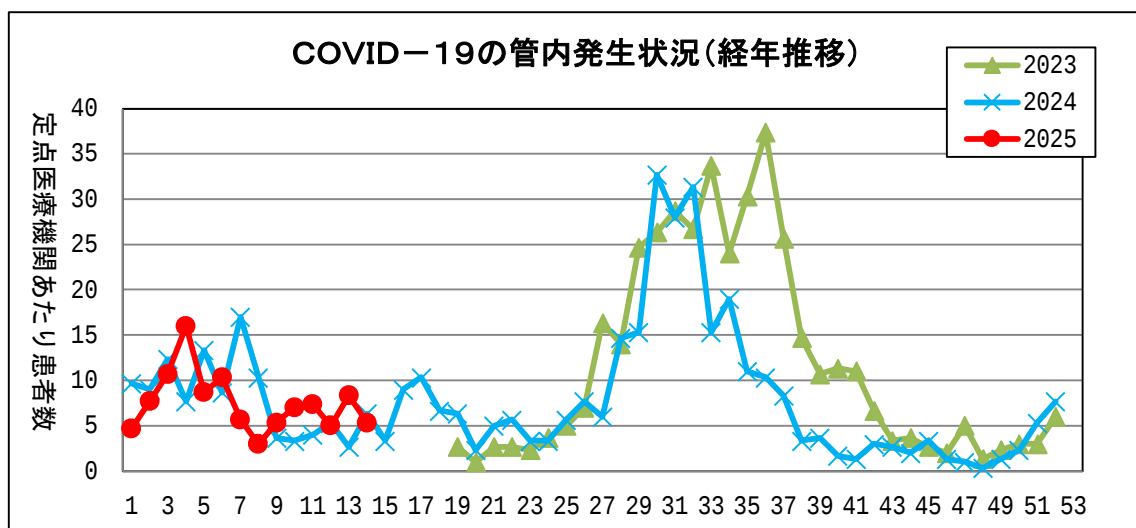
- 1 新型コロナウイルス感染症について
- 2 インフルエンザについて
- 3 管内の感染症発生状況（上記2疾患以外のもの）

1 新型コロナウイルス感染症について

管内では、定点あたり報告数は今週5.33人（先週8.33人）で先週から減少し、兵庫県内の定点あたり報告数も今週1.53人（先週2.02人）となり、先週から減少しました。地域別では、福崎保健所管内が6.00人と最も多く、当所管内5.33人、赤穂保健所管内3.33人となっており、年齢別では、80歳以上が16%と最も多く、次いで50歳代が14%となっています。

また、県内の社会福祉施設等においては、今週2件（先週8件）の集団発生が報告されています。

県民の皆様には引き続き3密の回避、手指消毒、効果的な換気、マスクの適切な着用といった基本的な感染症対策をお願いします。



注）2023年5月8日から新型コロナウイルス感染症は定点把握になりました。

<感染症に関する情報>

◆兵庫県ホームページ

[新型コロナウイルス感染症\(COVID-19\)に関する情報](#)

[兵庫県感染症情報センター](#)

◆厚生労働省ホームページ

[新型コロナウイルス感染症について](#)

◆国立健康危機管理研究機構ホームページ

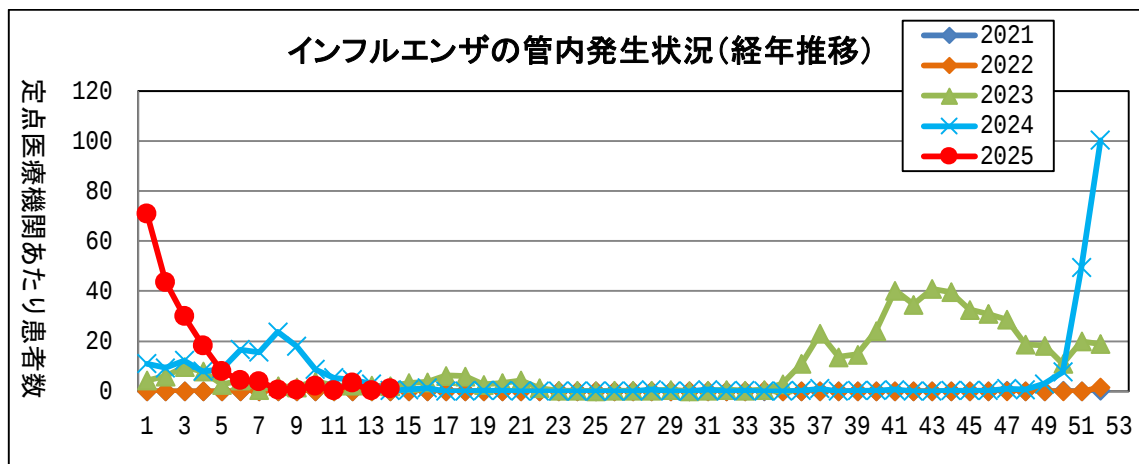
[コロナウイルス感染症](#)

2 インフルエンザについて

管内のインフルエンザの定点あたり患者数は、今週 1.00 人で、先週 (0.33 人) から増加し、兵庫県内の定点あたり患者数は今週 0.99 人で、先週 (2.07 人) から減少しました。

直近の５週間に県内の定点医療機関から報告された患者１,８３８人の年齢分布では、５～９歳が３９％、１０～１４歳が２９％で、１５歳未満が全体の８２％を占めています。

インフルエンザの予防には、ワクチン接種、手洗いが有効です。また、感染が疑われる場合は、マスクの着用、咳エチケット、早めの受診が重要です。



＜感染症に関する情報＞

◆兵庫県ホームページ

インフルエンザ疾患の発生状況(学級閉鎖・集団発生)

兵庫県インフルエンザ情報センター

◆国立健康危機管理研究機構ホームページ

インフルエンザ

3 管内の感染症発生状況（新型コロナ以外のもの）

(1) 管内の全数把握感染症（すべての医療機関から報告を求める感染症）

第14週は、報告がありませんでした。

(2) 定点把握感染症（指定された医療機関から報告を求める感染症）

(2025年14週) ※定当：定点当たり患者数

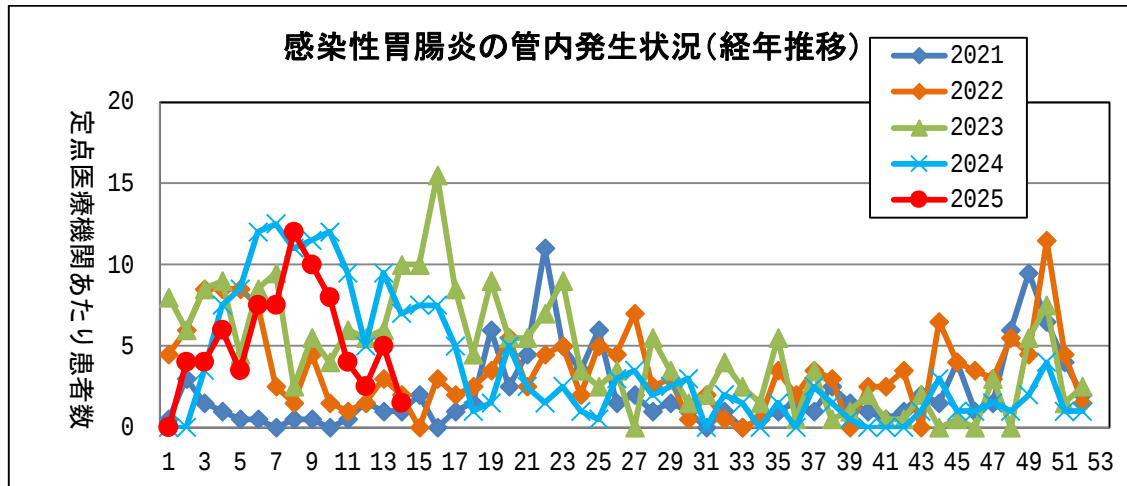
インフルエンザ		RSウイルス感染症		咽頭結膜熱		A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		感染性胃腸炎		水痘		手足口病		伝染性紅斑		突発性発しん		COVID－19	
報告	定当	報告	定当	報告	定当	報告	定当	報告	定当	報告	定当	報告	定当	報告	定当	報告	定当	報告	定当
3	1	-	-	-	-	-	-	3	1.5	-	-	-	-	-	-	1	0.5	16	5.33

[illegible]

管内では、感染性胃腸炎の定点あたり患者数が1.50人で、先週（5.00人）から減少し、兵庫県でも7.47人で、先週（9.36人）から減少しました。

また、県内の社会福祉施設等においては、今週7件（先週5件）の集団発生が報告されています。

トイレの後や、調理・食事の前には、石けんと流水で十分に手を洗うようにしてください。また、便や嘔吐物を処理する際は、使い捨て手袋、マスク、エプロンを着用し、処理後は石けんと流水で十分に手を洗ってください。カキなどの二枚貝を調理する際は、中心部まで十分に加熱してください。



<感染症に関する情報>

◆兵庫県ホームページ

[感染性胃腸炎\(ノロウイルス等\)について](#)

◆国立健康危機管理研究機構ホームページ

[感染性胃腸炎](#)